

内水浸水想定区域図 対象降雨【既往最大降雨】

1. 説明文
- この図は、北本市近傍の鴻巣雨量観測所において1994年9月8日に観測された1時間あたりの降雨量が最大となる降雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
 - この浸水想定区域は、北本市内で発生した過去最大の降雨（1時間降水量82mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
 - このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水（河川の破堤または越水による氾濫等）を考慮していませんので、想定される水深が実際と異なる場合があります。
 - このシミュレーションは、既往最大降雨による浸水を想定するため、排水先の河川及び海域の水位を実績水位に設定しています。
 - 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住まいの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2. 基本事項等
- 作成主体：北本市
 - 指定年月日：
 - 告示番号：
 - 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
 - 対象となる排水区：北本市公共下水道事業全体計画区域
 - 指定の前提となる降雨：既往最大降雨（時間最大雨量82.0mm）
 - 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法【降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施】
 - 境界条件：放流先河川の水位は河川計画高水位（H.W.L.）を設定
 - その他計算条件等：対象区域を25～100mのメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

凡例

- 行政区域
- シミュレーション対象区域

想定浸水深

- 0.1m以上 0.3m未満
- 0.3m以上 0.5m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 1.0m以上 3.0m未満
- 3.0m以上

